

教科(科目)	保健体育（保健）	単位数	1 単位	学年(コース)	2 学年
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『図説現代高等保健』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育成します～</p> <p>①確かな学力と豊かな人間性を身に付け、様々な場面に対応できる知識・技能を有し、何事にも主体的・創造的に取り組む力を育てます。</p> <p>②国際感覚や多様性を理解する姿勢を身に付け、広い視野を持ち、他者と協働し社会に貢献する態度を育てます。</p> <p>③よりよい社会を創造するリーダーとなるにふさわしい精神と、高い目標の実現のために粘り強く努力し続ける姿勢を育てます。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①生徒の資質能力の最大限の伸長のために、適切な科目の配置やICTの活用などに取り組み、確かな学力に基づいた思考・判断・表現する力を育成します。</p> <p>②生徒の個性を尊重した進路実現のために、地域の人的資源を活用して様々な体験をする機会を設け、キャリア教育の充実を図ります。</p> <p>③生徒の視野を広げ、多様な価値観を身に付けさせるために、様々な探究活動や体験活動を通して、教科横断的な思考と協働活動の中で合意形成する力を育てます。</p>

2 学習目標

<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>① 単なる知識の蓄積を目的とするのではなく、実生活と結びつけ、さまざまな場面において個人や集団の健康を保持増進するための意思決定と行動選択ができる能力を育てます。</p> <p>② 日頃から健康や環境に関わる身近な課題への興味関心を高め、課題解決の方策を考え、実践できる行動力を養います。</p> <p>③ 現在だけでなく将来の生活や健康を念頭に置き、中長期的な視野の中で生涯を通じた健康について考え、行動することができるように促します。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み（理解度、知識の活用等）の観察 課題等の提出状況や記述内容 定期考査 などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み（発言、グループ活動等の観察） 課題等の提出状況や記述内容 定期考査 などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み（自主性、積極性）の観察 授業への出席状況 課題等の提出状況や記述内容 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法	
4	③生涯を通じる健康	12	1. ライフステージと健康	1. ライフステージと健康の関連を知り、各ライフステージで活用できる社会からの支援について理解する。	a	定期考査	
5			2. 思春期と健康	2. 思春期における体の変化と、心の発達にともなって起こる問題について理解する。	b	課題	
			3. 性意識と性行動の選択	3. 性意識の男女差を理解するとともに、性情報と性行動のかかわりについて考察する。	c	行動の観察 授業ノート提出	
6			4. 妊娠・出産と健康	4. 妊娠・出産の過程における健康問題を理解し、妊娠・出産期の保健サービスを活用できるようにする。	定期考査	a b c	定期考査 課題 行動の観察 授業ノート提出
			5. 避妊法と人工妊娠中絶	5. 家族計画の意義と適切な避妊法、さらに人工妊娠中絶が及ぼす心身への影響について理解する。			
			6. 結婚生活と健康	6. 心身の発達と結婚生活の関係を理解し、結婚生活を健康的に送るための方策を考察する。			
			7. 中高年期と健康	7. 加齢にともなう心身の変化について理解し、高齢社会に必要な社会的取り組みについて考察する。			
7	③生涯を通じる健康	14	8. 働くことと健康	8. 働くことの意義と健康のかかわり、働き方や働く人の健康問題について理解する。	a	定期考査	
9			9. 労働災害と健康	9. 労働災害の種類とその原因について理解し、労働災害を防止するための方策について考察する。	b	課題	
			10. 健康的な職業生活	10. 職場がおこなう健康増進活動を理解し、余暇を積極的にとることの意義を考察する。	c	行動の観察 授業ノート提出	
	④健康を支える環境づくり		1. 大気汚染と健康	1. 大気汚染の原因と健康への影響を理解し、大気にかかわる地球規模の健康問題について考察する。			

10			2.水質汚濁,土壌汚染と健康	2.水質汚濁,土壌汚染の原因と健康への影響を理解し、大気,水,土壌にまたがる複合的な環境汚染について考察する。		
11			3.環境と健康にかかわる対策	3.環境汚染による健康被害を防ぐ方法を理解し、産業廃棄物の適正な処理について考察する。		
			4.ごみの処理と上下水道の整備	4.ごみ処理の現状やその課題、上下水道のしくみと健康にかかわる問題について理解する。		
			5.食品の安全衛生	5.食品の安全性と健康のかかわりについて理解し、食品の安全性に関する今日的課題について考察する。		
			6.食品衛生にかかわる活動	6.食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割と個人の役割について理解する。		
	定期 考査					
12	④健康を支える環境づくり	6	7.保健サービスとその活用	7.保健行政の役割を理解し、実際の保健サービスを活用できるようにする。	a	定期考査
			8.医療サービスとその活用	8.わが国の医療保険のしくみ、さまざまな医療機関の役割について理解する。	b	課題
1			9.医薬品の制度とその活用	9.医薬品の正しい使用法を理解し、医薬品の安全性を守る取り組みについて考察する。	c	行動の観察 授業ノート提出
			10.さまざまな保健活動や社会的対策	10.国際機関・民間機関などの保健活動を理解し、行政機関による社会的対策について考察する。		
2	学年末 考査		11.健康に関する環境づくりと社会参加	11.健康の保持増進のための環境づくりを理解し、環境づくりへ主体的に参加することにより自他の健康を高められるようにする。		

計 32 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・学期末に定期考査を受験します。マークシート 70 点、記述 30 点。
- ・学期末にノート提出があります。

8 担当者からの一言

現代社会における健康・安全の問題は多様化しており、心身の健康の保持増進が大きな課題となっています。心身の健康の保持増進を図るための思考力・判断力・表現力等や健康を大切に、明るく豊かに生活する態度を育成していきましょう。